

原宿交差点で地元小学生による工事見学会を行います

～平成22年内の開通に向け工事が最盛期を迎えています～

－記者発表資料－

国道1号原宿交差点の立体化工事については、平成21年4月に東京方向（上り線）のトンネルが開通し、現在、平成22年内の上下線開通に向け工事が最盛期を迎えています。

この立体化工事の工法には、交通への影響を少なくするよう、路面の掘削を行わずにトンネルを構築することが可能なハーモニカ工法を採用しています。

ハーモニカ工法は小型のシールドマシンを使って小さなトンネルを積み重ねて造り、それを最後に一体にして大きなトンネルにするもので、現在、原宿交差点の地下では徐々にトンネルの空間が造られています。

本工事では4本の小トンネルを造りますが、今回、**2本目の小トンネルが貫通し、シールドマシン先端が立坑に顔を出すこの機会**に、普段、地上では見ることが出来ない地下での工事現場を、「私たちのまち探検」の校外学習の一環として、横浜市立小雀小学校、大正小学校の3年生に見学して頂きます。

日時：平成22年2月2日（火）9時15分～ 1班約30分の見学を6班予定

集合場所：国道1号原宿交差点 横浜側作業スペース（横浜市戸塚区原宿）

参加者：横浜市立小雀小学校、大正小学校の3年生及び先生 合計約200人

※取材をご希望される方は、2月1日（月）12時までにご連絡をお願いします。

取材関係者を対象に、当日10時よりハーモニカ工法等の概要説明を現場事務所で予定しておりますので、ご希望の方は9時50分に現場内取材受付の方へお集まり下さい。

※工事の進捗状況はあくまでも予定であり、状況により変わる場合もあります。

※雨天の場合は、時間変更や延期となる場合があります。

平成 22 年1月27日（水）

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-311-2981（代表）

副所長（改築）

工務課長

きかい

酒井

いがらし
五十嵐

よういち

洋一

かすお
一夫

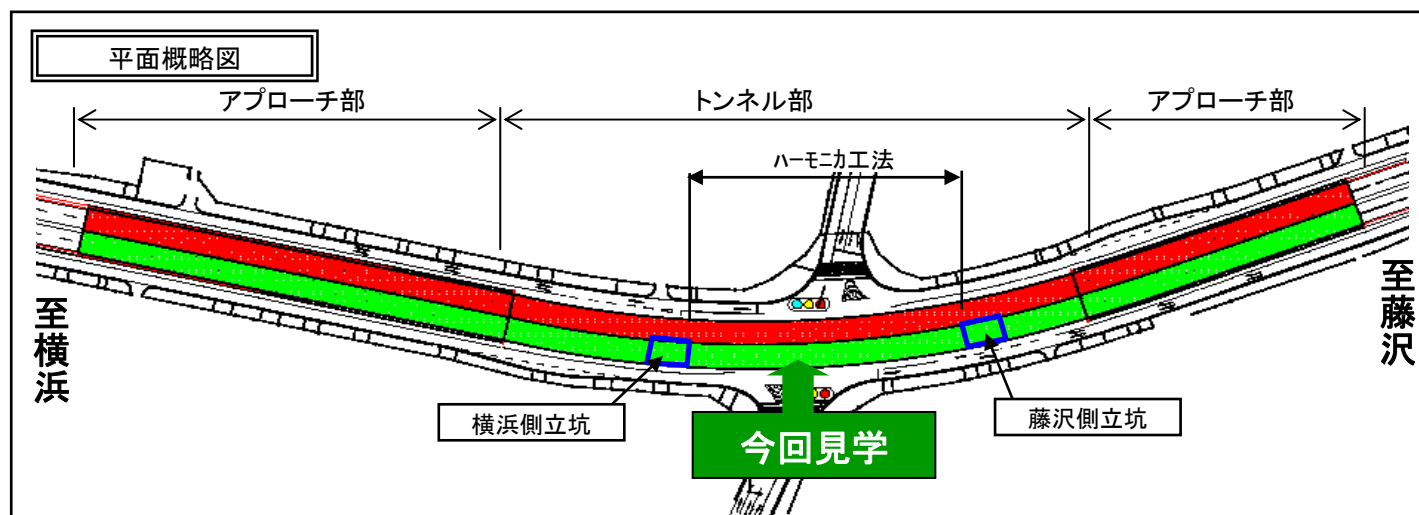
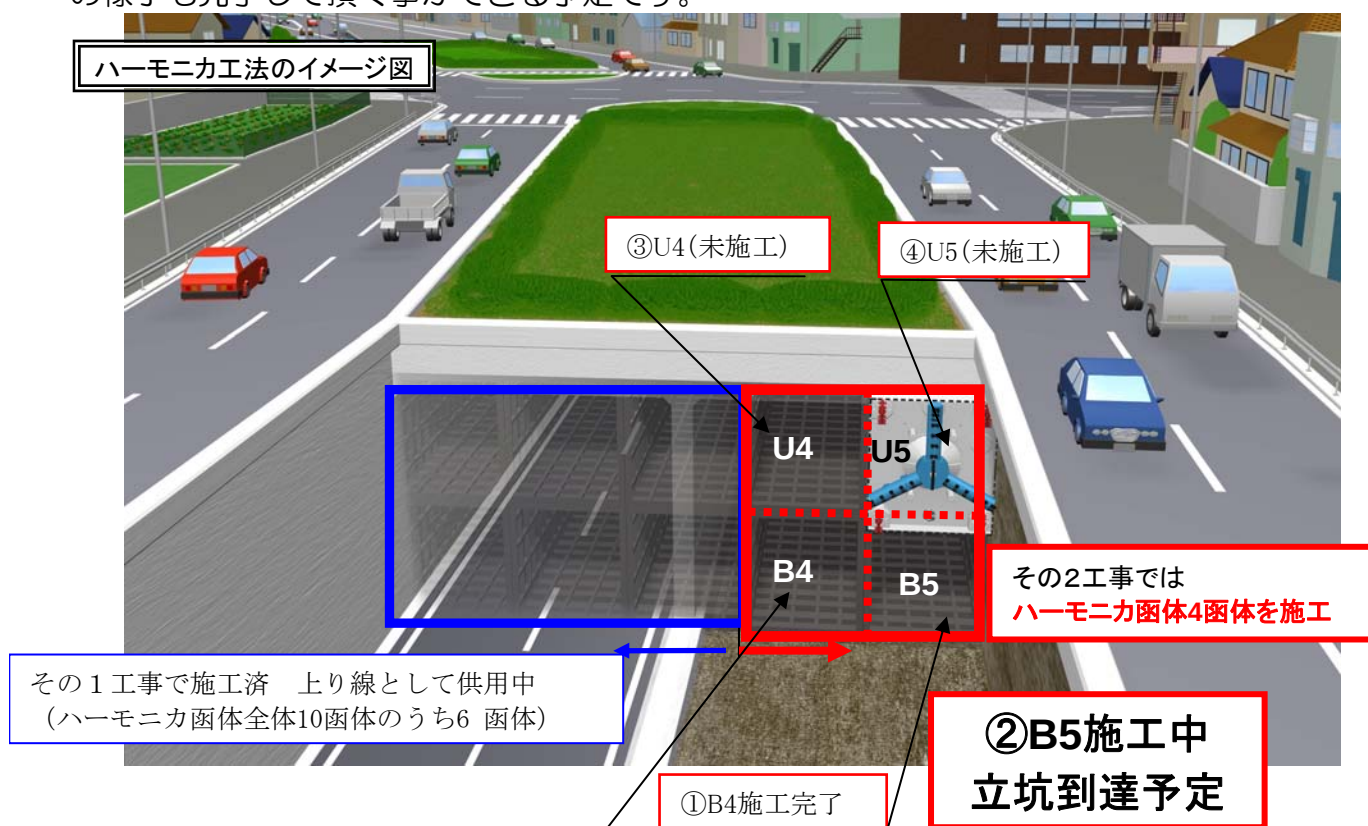
1. 工事諸元

- 1) 工事名：国道1号原宿交差点立体その2工事
- 2) 施工業者：大成建設(株) 横浜支店
- 3) 工事概要：上り線立体化工事 函渠工（トンネル部）一式
擁壁工（アプローチ部）一式

2. 見学会内容について

交差点下トンネル部とアプローチ部の見学を予定しています。

特にトンネル部については、ハーモニカ函体のB5（下イメージ図参照）のトンネルが貫通しシールドマシンが横浜側立坑に到達した段階になりますので、シールドマシンの先端部の様子も見学して頂く事ができる予定です。

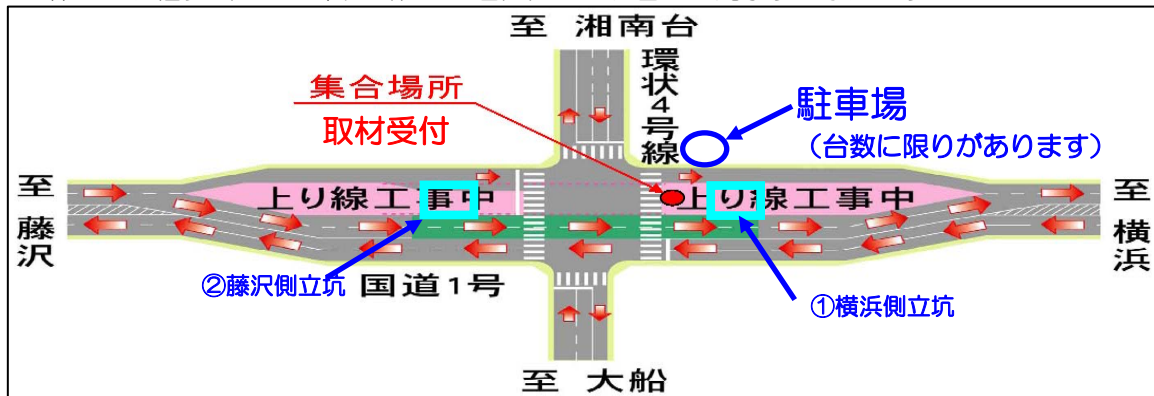


3. 当日の流れ

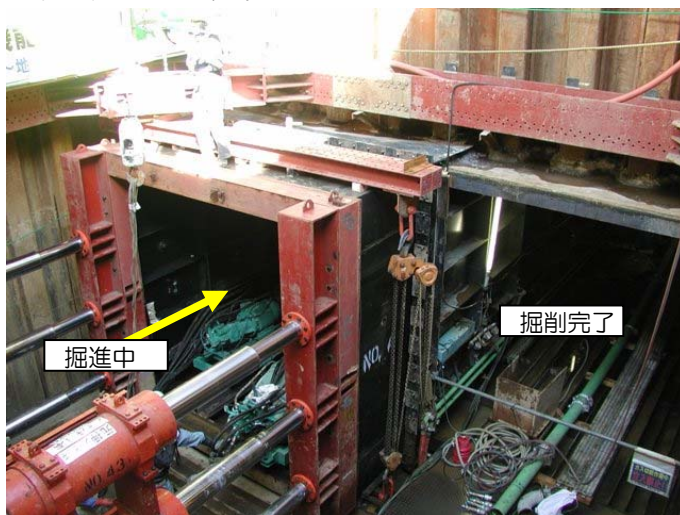
9:15 原宿交差点 横浜側作業スペース 集合（下図）

- ①横浜側立坑から地下へ → 地下通路にて交差点直下を通り抜け →
②藤沢側立坑 → 地上部でアプローチ部見学（全体で約30分程度）

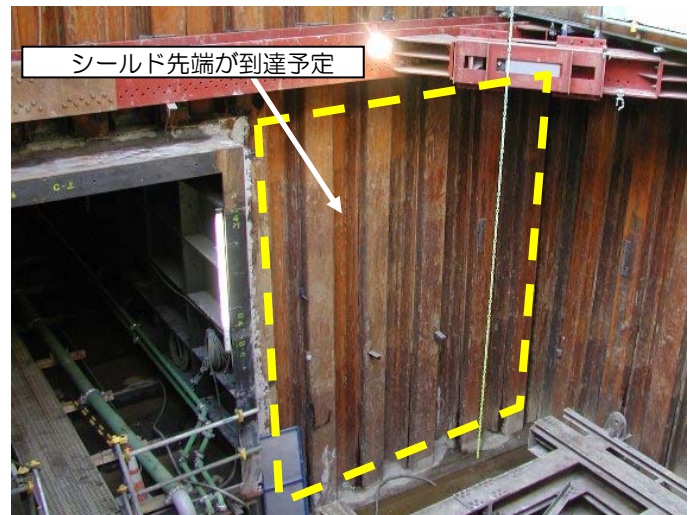
全体で6班程度（クラス単位（約30名））で入れ替えで見学する予定です



4. 現場写真、シールドマシン



発進側立坑の状況（藤沢側）



到達側立坑の状況（横浜側）



藤沢側アプローチ部



シールドマシン 幅4m×高さ4m

(概要)原宿交差点改良事業

○概要と目的

国道1号原宿交差点は、その前後が横浜新道、新湘南バイパスといった自動車専用道路で整備されており、多様な交通が集中し渋滞しています。本事業区間は、県内渋滞ワースト1であり、その渋滞損失額は年間約100億円になります。

原宿交差点改良は、国道1号と環状4号との交差点を立体化（国道1号を地下へ）し、国道1号の通過交通と環状4号との出入り交通を分離することによって、交通混雑を解消し、横浜市の放射・環状方向の円滑な交通を確保することを目的に計画されたものです。

○イメージ図（現在の状況）

平成21年4月に東京方向（上り線）が開通し、現在、22年内の上下線立体化完成に向け、工事を進めています



至) 湘南台

東京方向
トンネル
H21.4.4暫定開通

至) 藤沢



至) 東京

至) 大船

○位置図

原宿交差点改良事業
約830m

●原宿交差点の位置

